

令和4年3月15日

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341



## 全ての人の安寧と疫病退散などを祈願

黒鴨蔵高院で大般若法会を開催

黒鴨の蔵高院で大般若法会が2月27日に執り行われ、14名の和尚さまが一堂に会し「降伏一切大魔最勝成就」と唱えながら600巻の経本を転読し、全ての人の安寧と繁栄、疫病退散、諸災消徐、願意成就などが祈願されました。

また、経本の風にあたれば諸難滅すと言われていることから、参会者たちは和尚さまの脇に行き祈祷していただきました。

会の始めと終わりには蔵高院梅花講と常安寺梅花講の9名によるご詠歌が唱えられるなど、終始厳かな雰囲気で行われました。

鮎貝地区内では、高岡区と深山区でも執り行われている行事です。

## ボッチャ用具を

### ご寄贈いただきました

この度、鮎貝地区の皆さんに使って楽しんでいただきたいと、高岡の村上進様よりハーモニープラザにボッチャの用具2セットをご寄贈いただきました。

村上様には、コミセンのふれあい交流スクール（シニア学級）の学級長を長く務めていただきましたが、その間、コミセンにはいろいろお世話になったので、そのお礼にといただきましたのです。

ボッチャは、パラリンピックの正式種目にもなっていて、青と赤の持ち球を投げ合い、目標球に近づけた方が勝ちというルールですが、チームでボールをコントロールしながら戦略を練る緻密なスポーツでもあるようです。



\*使用してみたい方には、用具を無料でお貸し致しますので、ハーモニープラザにご連絡ください。

## スマホ教室を開催

### SNSの使い方を学びました



町のICTリテラシー事業を活用してまなび部会（大村亨夫部会長）主催によるスマホ教室が3月4日と6日に分けて開催され、2日間で19名の方が受講されました。

4GとWiFiの通信料の違いについてなどの説明を受け、コミセンのフリーWiFiに接続して、WiFiの設定やLINEの仕方などを教えていただきました。今までLINEをしたことがなかった方からは、「友だちの登録まで教えていただき、友人との通信を楽しみたいです。」と嬉しそうに話されていました。

また、参加された方々から次々に質問がなされたことで、予定していた時間では足りなかつたようで、少しステップアップした内容で再度開催してほしいとの要望が出されるほど好評でした。

## 鮎貝語り部クラブ 仲間募集のお知らせ

私たち鮎貝語り部クラブは、令和4年4月で20年を迎えることになりました。現在は11名で活動しています。

主な活動は、月に1回の例会（語りの練習）、各地区のサロン、デイサービス、小学校での語りのボランティアなどです。

昔語りを仲間と共に楽しんでみませんか？ご加入をお待ちしております。

鮎貝語り部クラブ 会長 鈴木 よし

お問い合わせ（ヤマシチ商店）電話85-3134

◆鮎貝の民話、伝説の語りをユーチューブの鮎貝コミセンチャンネルにアップしています。ぜひご覧ください。



チャンネル登録はこちら





## ハーモニープラザ大規模改修工事の概要をお知らせ致します

○多機能トイレ新設 ○照明器具LED化

○空調機器類更新 他

設計：(株)秦・伊藤設計

施工：丸ト建設(株)

工事費：約5,588万円

※今月末までの工期となっておりますが、

LED等の器材が全国的な品薄により納入  
ならないため、工期が9月末まで延長され  
ますのでご了承くださいようお願い致します。



オストメイト付き多機能トイレイメージ



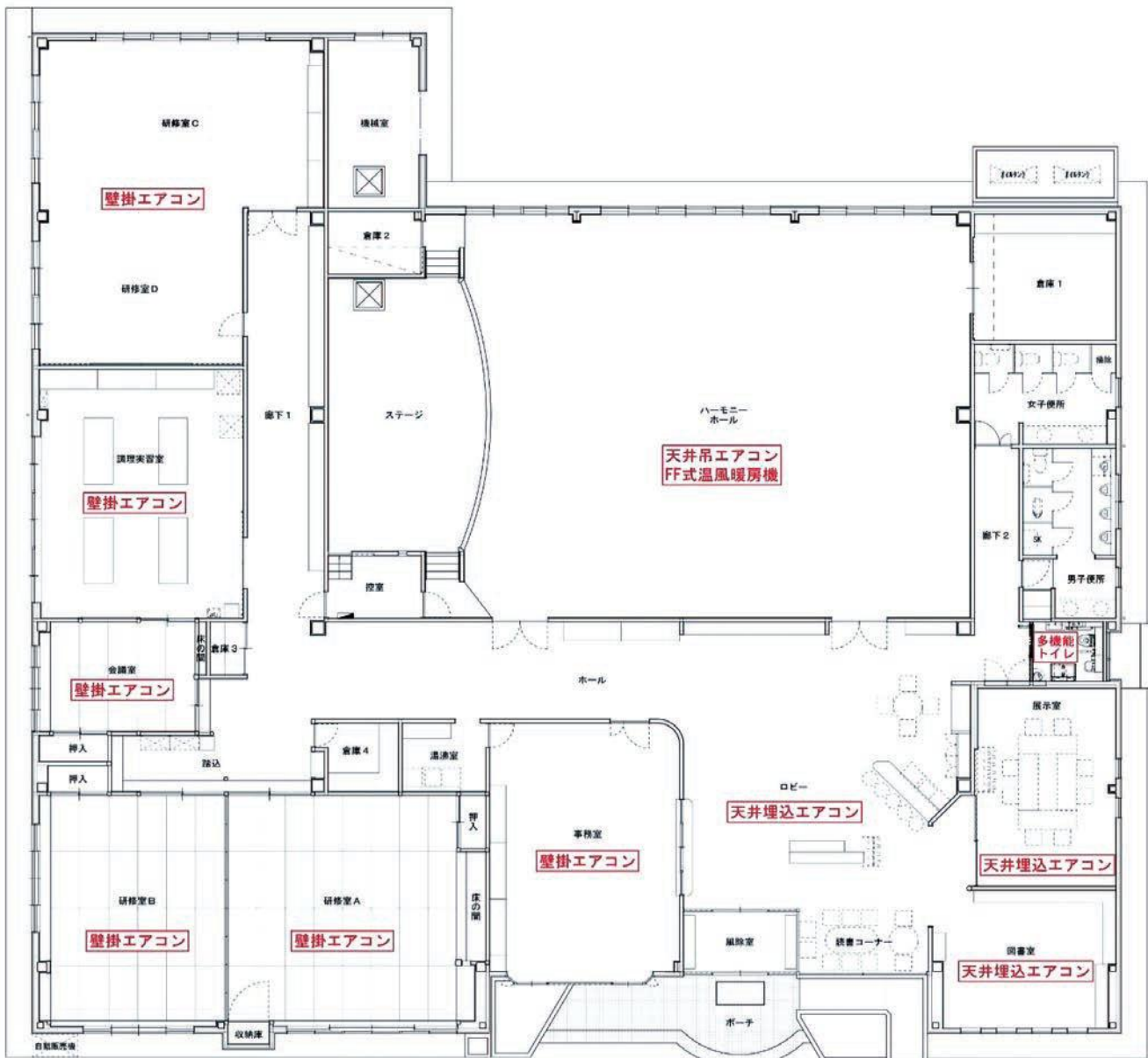
壁掛エアコンイメージ



FF式温風暖房機イメージ



天井吊エアコンイメージ



鮎つ子たちの令和三年度も、残すところあとわずかとなりました。今年度も引き続きのコロナ禍ではありましたが、これまでの知見を活かし、子供たちの学びを保障できたことに安堵しています。感染防止の観点から、コロナ前とは違う、新しい形での活動もありましたが、ほぼ予定通り実施できたと捉えています。但し、子供たちのがんばりを、地域の皆様に直に見ていただく機会を設けられなかったことが悔やまれます。保護者の皆様においても、人数制限等により窮屈な思いをなされたことと思います。本稿では、今年度の取り組みから、次の二点について振り返ります。

### ■GIGAスクール構想

五月から、一人一台パソコンを使った教育活動が始まりました。導入当初、どこまで使えるようになるのか不安もありましたが、「習うより慣れる」ととにかく使ってみよう」の合言葉でどんどん活用が進んでいきました。さすが、令和の子供たちです。それ以上に危惧したのは、教師側の研修や準備が追いつくかどうかという点です。これについては、保護者や地域の皆様の御理解により働き方改革が進み、そこで生み出された時間を、研修や準備の時間に充てることで、無事軌道に乗せることができました。

### ■あいさつ

あいさつについては、より元気に、そして、いつでも・どこでも・誰にでもできるよくなればという願いを持っています。そこで、みんなで取り組む合言葉の中に「え：えがおであいさつ」を盛り込み、また、児童会活動でもあいさつ運動を展開し、気運を盛り上げてきました。更に、今年度より始まった学校運営協議会（コミュニティスクール）でも、あいさつについて熟議を行いました。その結果、先頃実施したアンケートでは、半数以上の六十八%の児童が、以前と比べあいさつが良くなったと回答しました。保護者アンケートからも、同様の傾向がうかがえました。来年度、更に磨きをかけ、本校の自慢と胸を張れるまで引き上げていければと思っています。

### ～駐在所からのお願い～

子どものスマホ・タブレット等通信機器利用には**ペアレンタルコントロール(保護者による管理)**が求められています

近年、中高生だけでなく、低年齢層の児童にもインターネットの利用が広まっており、SNS等に起因する子どもの性被害や未成年者誘拐事件など、犯罪被害や高額課金トラブル等が発生しています。

保護者は、子どものスマホ、ゲーム機などの情報通信機器の利用を適切に管理し、犯罪を防止しましょう。

白鷹西駐在所  
後藤 巡査部長



### いよいよ連載が始まります

漫画家、七津角建介先生を応援しましょう

昨年の夏に皆さんからご協力いただいた別冊少年マガジルーキー杯のアンケートで見事連載権を勝ち取ることができた鮎貝出身の漫画家、七津角建介先生の「託児城のオルペイル」が3月10日発売の4月号から連載が開始されます。

今回からは連載を継続させるために皆さんの応援をお願い致します。

別冊少年マガジンは部数が限られていて入手が大変な雑誌です。ヤマシチ商店では、毎月50冊を確保できるよう調整しています。「連載が続く限りの定期購読」を希望される方は置き置き対応しますのでお知らせください。

ヤマシチ 鈴木 広貴